

薪ストーブで冬キャンプを楽しむ



テント内で薪ストーブを楽しむ常連のTさん。
脚が長いタイプなので扱いやすい。

「薪ストーブのある生活」はアウトドア遊びをする人々のある種の“あこがれ”です。

でも、自宅に薪ストーブを設置するのはなかなかハードルが高いですね。設置費用、周囲とのトラブル懸念、薪の確保、メンテナンス、などなど…。

そこで、というわけではありませんが、「薪ストーブを満喫するキャンプ」ならば可能です。

しもはじ埴輪キャンプ場で冬キャンプを楽しむキャンパーさんでも、「薪ストーブ」を利用する方は少なくありません。テントの外での利用はもちろん、一酸化炭素中毒の予防対策（チェッカー利用）をすればテント内でも使えます。

キャンプでの薪ストーブ利用の利点はいろいろあります。

- ① 金属のストーブ本体から放射熱を発するので、近くに寄って暖まっても衣類に火が移るなどの危険がほとんどありません。
- ② 煙が煙突から出るので煙に悩まされることもありません。
- ③ ストーブ本体に鍋などを置いて調理ができますし、焚き火のように煤がつくこともありません。（本体の上部蓋や扉を開けて直火で調理することもできます）
- ④ 耐熱ガラスを使っているタイプは「炎」が見えますし、薪を追加するタイミングもつかめます。



ホンマ製作所の定番「時計1型薪ストーブ」。
調理もしやすいです。常連のKさん所有。

焚き火には焚き火の良さがたくさんありますが、薪ストーブには焚き火とは違う良さが備わっています。キャンパーさんの中には両方をうまく使い分けて同時に楽しんでいる方もいます。



CAPTAIN STAGの「KAMADO」。上部でネギ焼きをしつつ、本体扉を開けてホットサンドメーカーで餃子を焼くこともできます。

しもはじ埴輪キャンプ場では、各種のストーブをそろえています。「HONMA時計型薪ストーブ」（550円）～、「ペレットグリルヒーターきりんさん」（3,300円）など、計8種類。「ペレット燃料」を利用するタイプは、こまめな燃料追加を気にすることなくストーブ機能を楽しむことができます。

ちなみに、ストーブの耐熱ガラスが煤（すす）で曇ったときの対処法。ティッシュ又は布切れを少し水にひたし、それに「灰」を付けて軽くこするとガラスに付いた煤汚れがきれいに落ちます。